

審議会等の会議結果報告

1. 会議名	第7回津市屋内総合スポーツ施設設計検討委員会
2. 開催日時	平成25年7月19日(金)14時00分から15時00分まで
3. 開催場所	津市役所4階庁議室
4. 出席した者の氏名	委員) 木下委員、相沢委員、小椋委員、後藤委員、青木副市長 事務局) スポーツ文化振興部長 新家 新産業スポーツ施設推進担当理事 山川 新産業スポーツ施設推進室長 川合 新産業スポーツ施設推進室施設推進担当主幹 若林 新産業スポーツ施設推進室施設推進担当副主幹 谷口 日建設計) 小谷設計部長
5. 内容	1. 議事 (1) 設計業務の完了に係る内容説明 (2) その他
6. 公開又は非公開	公開
7. 傍聴者の数	0名
8. 担当	津市スポーツ文化振興部新産業スポーツ施設推進室 電話番号 059-229-3375 E-mail 229-3375@city.tsu.lg.jp

・ 議事の内容 下記のとおり

<p>事務局（若林）</p>	<p>まもなく定刻でございます。みなさんお揃いいただいておりますので、委員会を始めさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは失礼いたします。ただいまより津市屋内総合スポーツ施設設計検討委員会を開催させていただきます。</p> <p>本日はご多忙中にも関わらずご出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>本会議は津市情報公開条例第23条の規定に基づき、公開として市民一般の方の傍聴席を設けておりますとともに、会議結果の公開について住民への説明責任の一層の向上を計る必要がありますことから、会議における発言者の氏名についても公開することとなりますので、ご了承のほどよろしくお願いいたします。また、議事録については後日、津市のホームページで公開させていただきます。それでは委員会の開催にあたりまして、青木副市長よりご挨拶申し上げます。</p>
<p>青木副市長</p>	<p>副市長の青木でございます。本日は皆様ご多忙にもかかわらず、ご出席を賜りましてありがとうございます。</p> <p>本委員会も今回で第7回目となりましたが、先月実施設計を完了いたしまして、来月にはこの屋内スポーツ施設の建設に関わる業者が決定する運びとなっております。ちょうど説明をさせていただきますが、皆様と議論を重ねてまいりまして、検討事項を十分踏まえまして、使いやすい利用者の立場にたった全国に誇れる施設に仕上がっていくと思っております。</p> <p>本委員会の所管事項につきましても一定の成果を頂戴いたしましたことから、今回を最後の委員会とさせていただきたいと思っております。</p> <p>現在の事業の取り組みといたしましては、すでに先月より駐車場整備にかかる造成工事着手いたしまして、年内には駐車場完成しまして、来年1月からは現在使用しております北側駐車場を閉鎖いたしまして本体工事に着工する予定でございます。また正面の東側道路につきましても、現在一線道路でございますけれども、施設への進入路となるシンボルロードといたしまして4車線化を決定し、こちらについては年内に一部工事着工の予定でございます。周辺整備も平行して進めておりまして、平成28年の4月の利用開始に向けまして、前回の検討委員会におきまして平成33年に第76回国民体育大会が三重県で開催されることをご紹介させていただきまして、</p>

	<p>本市といたしましてもいくつかの競技をアリーナやメッセウイング・みえの展示場を競技場として実施したいとご説明させていただきましたが、去る5月29日に一次選考の結果が三重県において発表されまして、この新設のアリーナではバスケットボールとバレーボールが、メッセウイング・みえではレスリングと柔道が開催されることとなっております。その他、市内では久居体育館でなぎなたが、民間の施設におきましてはボウリングが開催されると決定しております。現時点で正式競技37のうち一次選考では8競技しか開催地域が決定しておりませんが、今後順次、各種競技の開催地が決定されるものと思っております。</p> <p>本日は今までの検討内容を踏まえまして、設計完了の報告が主となりますが、また本日は最後の委員会でありますことから、終了後には前葉市長との懇話の時間も予定しておりますのでよろしくお願い申し上げます。簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。</p>
事務局（若林）	<p>ありがとうございます。つづきまして、この4月の組織改正によりスポーツ振興課から新産業スポーツ施設の建設運営に重点をおきました新産業スポーツ施設推進室を分離設置いたしました。平成28年4月の供用開始にむけてたぐいまる計画を進めております。</p> <p>改めまして本日、出席の職員のほうをご紹介させていただきます。</p> <p>スポーツ文化振興部新産業推進担当理事、山川でございます。</p>
山川理事	山川でございます。よろしくお願いいたします
事務局（若林）	スポーツ文化振興部部長、新家でございます
新家部長	新家でございます。よろしくお願いいたします。
事務局（若林）	新産業スポーツ施設推進室室長、川合でございます。
川合室長	本日はどうもよろしくお願いいたします。
事務局（若林）	新産業スポーツ施設推進室副主幹、谷口でございます。
谷口副主幹	谷口でございます。よろしくお願いいたします。

事務局（若林）	<p>そして私、新産業スポーツ施設推進室主幹の若林でございます。何分拙いですが、ご協力のほうよろしく願いいたします。</p> <p>また、本日も本設計業務の受託者であります日建設計様より担当者の方にご出席をいただいております。</p> <p>それでは議事に入らせていただきます前に、会議の成立についてご確認させていただきます。委員5名中、皆様の5名様委員にご出席いただいておりますので、津市屋内総合スポーツ施設設計検討委員会設置要綱第6条2項の規定に基づき委員の半数以上の方にご出席いただきましたので会議が成立しましたことをご報告させていただきます。</p> <p>それでは木下委員長、議事の進行につきましてよろしく願いいたします。</p>
木下委員長	<p>はい、会議を始めさせていただきたいと思いますが、先ほどご説明ありましたように今回は本委員会の最終回ということで、終了後に前葉市長との懇話会を、3時から予定されているということです。時間が限られてはおりますので皆様の議事進行のご協力をよろしく願いいたしたいと思います。</p> <p>それでは早速ですが、議事の一つ目に入りますが、設計業務の完了にかかる内容説明につきまして事務局より説明をお願いします。</p>
事務局（若林）	<p>冒頭、副市長のご挨拶にもございましたように、先月設計業務を完了させていただき、現在建設業者の決定に向けた作業に入っております。本日は設計の完了報告という形で進めさせていただくところでございます。それではお手元の資料に基づき、設計者様よりご説明のほうさせていただきますのでよろしく願いいたします。</p>
日建設計（小谷）	<p>日建設計の小谷でございます。よろしく願いいたします。</p> <p>本日はお手元の資料と模型、パースをパネル化したものをご用意しておりますので、これらを使いながら最終の設計完了の報告をさせていただきたいと思っております。今日のところはいろいろご意見いただけてきたものの内容確認と、それから少し最終設計完了の前に修正を加えたものもございまして、そのあたりを中心にご説明させていただきたいと思っております。</p> <p>まず最初に、模型による説明ということで、そこに模型が置いてありますけどちょっと皆さんに集まっていたくのもあれなので、また会議終わった後ぐらいに少し見ていただければと思います。最</p>

終のかたちには修正をしたものがそこにあります。ではお手元の資料で、絵を何枚か入れておりますので、これらのご説明をさせていただきたいと思います。これが全体の空から見た絵でございます。以前からずっと見ていただいているものでございますけれども、若干修正を加えている部分もございます。ひとつはこの入り口の部分ですね、このあたりの形がちょっと変わっています。前回まではもう少し入り口広場にかかる屋根の面積が大きかったんですけれども、少し入り口広場の使い方とかを考えまして、もう少し開放的な方がいいだろうということで屋根の面積を縮小させていただきまして、少し大きく屋根が開いてる形になっています。このあたりが少し変更ということになります。それからあともうひとつ屋上広場というのが、このちょうどトレーニングルームであったりとかフィットネススタジオの上にあるんですけども、このあたりの使い方も今までこの委員会でいろいろ議論いただいてきたところでございますけれども、以前まではこのデッキのスペースがもう少し広がったんですが、少し緑の部分を広いたしました。デッキの部分が広くてもそんなにたくさん大勢の人がここに来るわけではないので、むしろ緑化していったほうが建物としては良いのではないかとということで緑地部分を増やした案でございます。これが全体の鳥瞰でございます。先ほどお話ございましたように、この前面道路の拡幅工事がまもなく発注される、それからこちら側の駐車場、これ今現在こちらから先が田んぼになっている部分でございますけれども、この部分の工事については先行して着手されているというような状況でございます。

2枚目でございます、これは内観パースということでこれも以前からずっと見ていただいておりますけれども、正面側の絵でございます。正面側の絵で変わったところは先ほどと同じくこのあたりの庇の構成が若干変わっています。正面から見たら中がちょっとわかりにくいという構成ですが少し透けている感じになっているかと思えます。あと、建物以外の部分で少し手前の田んぼの表現など、絵の描き方を若干変えているところがございますけれども、ほぼ前回までに見ていただいた内容が、今申し上げた部分のところが変わっている以外は特に大きく変わっているところはございません。これが外観でございます。

それから、正面玄関から中に入っていくましてアスリートモールと呼んでいる部分でございます。アスリートモールの内観イメージにつきましても、いままで何度も見ていただいておりますいろいろご意見もいただきました。その中でいくつかポイントとしてあり

ましたサインですね。どこにどういう施設があるかというのをできるだけでわかりやすく表現するということ。エレベーターやトイレもこういう大きなサインで見やすくわかりやすい計画ということにしております。それからあとご意見をお伺いしたところだと、床の仕上げをどうしましょうかという話があって床は最終的にはタイルカーペットの仕上げになっていますけども、そのタイルカーペットの色もいろいろグレイッシュなものからカラフルなものまでお話をさせていただきまして、最終的にはこういう少し落ち着いた色調のベージュの色をベースに、このサインと連動させて床に色をつけるというようなかたちで、よりサインとの関係を作り出して施設構成をわかりやすくするというようなカラーリングで、全体に少し元気が出るような色使いをしながら建物としてのわかりやすさみたいなものを追求したい、そういうかたちのデザインにしました。これらはアスリートモールのイメージでございます。

続きまして、メインアリーナです。のちほどまた平面図でもご説明しますが、メインアリーナも基本的には前回から見ていただいている構成と同じようなかたちでございます。で、一点大きく変わっている部分と申しますのは、天井でございます。これは以前からご説明している太陽光を取り入れる光ダクトでございます。その光ダクトと光ダクトの間の部分に、実は前回までは吊り天井というかたちで天井を張っていたのですが、昨今こういう大空間の大きな面積の吊り天井が落下するという事故が起きています。それから特に地震の時なんかそういうことが起きたりして、今は実は国土交通省のほうで吊り天井の構造形式の使用について見直しがなされている状況です。設計完了段階ではそれがどういう方針になるかが見えなかったところ、それと、機能的にはわざわざ吊り天井を張らなくても機能を果たせるということで、むしろそういう危険なものはできるだけ排除していきたい、もちろん構造的にはしっかりしたものを造るのですが、そういう要素は排除していくということでむしろもう天井張らなくてもいいんじゃないかということで、この間の部分については天井を張らないようなかたちに変えさせていただいております。これは、この次に出てきますサブアリーナも同様の考え方で整理をさせていただきます。内装の仕上げにつきましては観客席のところは木目調のものを使いまして、そこから上の部分は塗装にしております。ちょっとこのパースと手元の資料もそうですけど、全体に少し色が飛び気味でもう少しグレイッシュなイメージの天井と壁にしたいと思っております。このあたりの色も前の委員会でもっと濃いものとか明るいものとかいろいろ

る言っていただいてご苦労していただいたとことでございますので、できるだけ競技に適したボールであったり、シャトルコックだったりそういうものが見やすく競技できるような、そういう色使いを考えていきたいと思えます。

同じくこれがサブアリーナでございます。サブアリーナも同様に木目調の壁で少し温かみのある表情を持たしながら天井は同様にサブアリーナのほうは大きく全体に丸く天井を張っていたんですけども、同じように吊り天井というかたちをやめまして、屋根の仕上げの下地部分に吸音するような材料を使って、吸音の機能をちゃんと確保しながら吊り天井屋根の変更をさせていただいております。

それからプールです。プールにつきましても、これも以前から見ていただいている内容で、ほぼこれも大きく変更はございません。テント幕屋根がかかっています、ここはテント幕屋根ですから、屋根材と、二重になっていますから、屋根材と天材がほぼ同一のものということですので、ここは落下するという危険性がないものですから特にその天井ということに関しては触っておりません。幕屋根を通して自然の光が軽くスッと入ってくるというようなかたちでございます。

あと委員会の中で議論になっていたアスリートモールからの見え方、それからこういう特に採暖のためのジャグジープールのところの見え方なんかにつきましても、窓にこういうフィルムを貼ったり、それから特にこのジャグジー周りについてはガラスブロックの壁を建てたいということで、視線カットにも注意を払ったデザインになっております。

それから柔剣道場です。柔剣道場につきましては、これも特に前回から見ていただいている内容からは変わっておりません。同じく壁に関してはこの木目調の内装を使いまして天井も少しこういう木目調のパネルを使って四角いスクエアな照明器具を使っている。それからこういう梁型を露出させて規則正しいカチツとした、デザインにしております。柔剣道場という性格上、規律正しいといえますか、そういうデザインにさせていただきました。前回までに見ていただいていた絵は実は、手前側に剣道の絵があって、向こう側に柔道の絵があったんですけど、それがちょっと入れ替わっていますけども、実際はどちらでも使えるかたちです。当面は向こう側、サブ入り口側なんですけども剣道で使うパターンが多かろうということで今その絵としては入れ替えさせていただきましたけれども、それぞれのコートが4面とれるくらいの大きな柔剣道場になって

おります。

それから弓道場でございます。今の柔剣道場のように屋根の部分ですね、このようなかたちで、大きく屋根が開いていました。矢道の部分が大きく屋根を開けたかたちになっております。ですので、ほとんど仕上げという感じのものはないんですけど、やはりこの今の部分は床が木目、それから天井も木目ということで少し日本的な競技ということでそれにふさわしいようなものをデザインにさせていただいております。それから、側面部分には観覧席になるようにスペースを設けておりまして、そこにガラスを入れてガラス越しに観覧していただくような構成になっております。このあたりももともとの設計からそのかたちになっておりました。ちなみにこの弓道場の矢道の部分については人工芝で考えております。これはあの弓道協会のみなさんといろいろお打合せさせて頂きながら、そのあたりの仕上げを決めさせていただいております。

それから、これが今までご覧いただいてなかったところでございますけれども、今までずっとそれぞれの競技のスペースを見ていただきましたけれども、例えばトイレはどんな感じになってるのか、あんまり薄暗い不衛生なトイレにならないようにというお話事務局の方からいただいておりましてので、これは2階にありますメインアリーナの前にあるトイレ、男性側のトイレの絵を描いてみました。全体に白っぽい壁仕上げで、明るく仕上げまして、1番手前、このあたりのあたりには小便器が並んでいるという、その奥のほうには大便器用のブースが並んでいて照明の壁であったりとか、こういう洗面の腰部分についてはブルーの色使いをアクセントとして入れております。これは女性側のトイレについては赤い色使いにしようかなと考えていますが、当初私どものほうで設計提案をさせていただいたときからのご提案で、男性用トイレと女性用トイレの境界の壁を動かして男女それぞれの比率をイベントによって変えられるという設計をさせていただいております。それがちょうど正面に見えるこのブルーの壁ですね。これを手前側に持ってきて女性側に広げるとか、奥側に持ってきて男性側に広げるとか、そういうようなこともこの壁で考えております。これがトイレのイメージです。あまり大々的にご説明するほどのものではないんですが、こういうかたちで、競技場部分以外のパブリックエリアもできるだけ明るく使いやすいかたちのものにしたいと考えております。

あと、その後ろにずっとそれぞれ図面を付けさせていただきました。これがちょっと小さい図面で見にくくて申し訳ないですけども、一応実施設計図面から抜粋したものでございます。その部分に



今回、最終的に前回の委員会から変えさせていただいたところを書かせていただきましたので。これまず全体の建物の配置図でございます。先ほど申しましたようにこの入り口の庇の部分、この部分については少し開放的になるように庇の面積を縮小して、こういうかたちで大きく屋根が開いているかたちになっています。これが修正点です。それからランニングコースが外周に回っているんですが、ちょっと休憩できるように東屋という屋根だけがかかっているようなものを一時期設けていたのですが、最終的にはそういうものはなくてもいいんじゃないかという話をさせていただいて、ベンチは残っていますけども、屋根だけ外させていただいております。全体の見通しのことを考慮し、できるだけ外周の防犯安全性みたいなことも考慮しての内容でございます。

全体の構成、もちろん、細かいところ含めてですが、変わっております。こちら側にメインのエントランスがあって、ここにアスリートモールがあるというかたちでございます。それぞれにフィットネススタジオ・トレーニングルームの入り口、それからプールの更衣室に入っていて、ここに更衣室があって、こちらからプールに出て行くという構成ということですね。それから、アスリートモールから柔剣道場に入っていくという構成でございます。さらにこちら側に来ますと、メインアリーナがあってそれぞれ両サイドに更衣室であったりとか、放送室、救護室、そういったものが両方に入っている。それで1番突き当たりの奥にはサブアリーナがあるということでございます。このあたり全体構成、細かい部分のプランニングについては、前回、委員会でご説明させていただいて以降変更はございません。

2階でございます。2階につきましては、平面的に出てきている部分については先ほどお話ししました屋上広場の部分でございます。屋上広場の部分、横に線を引いている部分はデッキを敷いている部分でございます。これは、もともともうちょっと広がっていたんですけども、緑化面積をもう少し取りたいということで緑化部分を広くしてデッキの範囲を縮小させていただきました。あとは先ほど申し上げましたようにメインアリーナの天井の仕様であったり、それから同じくサブアリーナの天井仕上げの変更ということでございます。これがちょうどその天井から見たかたちでございます。光ダクトの間の部分の大きな吊り天井をやめさせていただいて、直天井と我々は言うておりますけども、屋根の仕上げ材のすぐ下に天井仕上げがあるかたちでございます。サブアリーナのほうについても同様に、大きく吊り天井があった部分もやめさせていただいて、直

	<p>天井のかたちに変えさせていただいたところがございます。これは屋根を見たところがございます。屋根を見たところについては特に変更はございません。前々回くらいですが、設計の途中で光ダクトの考え方についてのご説明させていただいて、光ダクトの形状、こちら側が北側ですけども、北側には突起があって、南側の突起をできるだけ小さくするというかたちに変えさせていただいております。そのあたりも模型を今回修正してまいりましたので、ご覧いただければと思います。</p> <p>あとは立面図でございます。このように光ダクトの明かりの取り入れ口の形状が左右変わってきているということでございます。これは西側ですね。西側のサオリーナというサインを書かせていただいておりますけども、このあたりのロゴ等についてはまだこれから検討中ということでございますので、今後ロゴの決定次第、このあたりは変えていくということで、今現在ありますメッセウイング・みえの部分には「メッセウイング・みえ」という名称を入れる予定にしております。これは同じく立面の北側から、これも同じくこちらの上に建物名称のサインと柔剣道場と弓道場が入っているこの棟に関しては三重武道館という名称がございますので、ここには三重武道館という名称を入れさせていただくことと思っております。これは断面図といまして、間をズバツと切ったところでございます。先ほどこれがメインアリーナを縦方向にズバツと切っている絵ですけども、もともとこれがそれぞれ鉄骨の柱とその周りを取り巻く光ダクトの構造体があるんですが、このあたりにずっと天井を吊り天井として張ってたものをやめて、上に大きくあげたということでこの屋根材の仕上げのすぐ直下に天井を仕上げていくという構造に変えさせていただこうと思っております。</p> <p>ということで簡単ではございますがお手元の資料の説明をさせていただきます。以上でございます。</p> <p>はい、ありがとうございます。設計内容につきましては一通り最終案ということでご説明いただいたということなんですけども、委員のみなさまにご意見をいただきたいとうふうに考えておりますが、冒頭にもご説明ありましたようにですね、もうあのすでにこの設計案で入札にかかるということでございますので、設計自体変更するというのは困難だということですが、まあ軽微なものとかですね、そういうものであれば、今後建設工事の段階で反映できると、これを参考にとということですのでご意見を伺わせていただきたいなというふうに思います。どこからでも結構ですので、委員のみな</p>
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

木下委員長

	<p>さまに何かお気づきの点があればご意見がございましたら、お願いしたいと思います。よろしく申し上げます。</p>
青木委員	<p>吊り天井をなくしましたよね。光ダクトという売り物というのが、自然光が入って中が外と一緒のようなイメージでということですよ。天井がなくなることで光の影響というのは、どうですか。</p>
日建設計（小谷）	<p>光ダクトの部分に関しては、当初の設計のかたちを保つようにしておりますので、この光は下に出てくるので、この側面部分の天井は光ダクトより、ちょっと上がっていたんですね。ですから、あんまりこの光ダクトの光の出方に影響は与えないというふうに判断をしております。</p> <p>これがもう少し近くにあって光ダクトの光が横の天井に反射してさらに明るくなるという構成に元々となっていたのであれば、影響が出るんですけども、元々その分は上げていて光量に入れてなかったものですから特に問題ないと思います。</p>
青木委員	<p>よく部屋かなんかで電球をつけると天井が高いのと低いのとで、だいたい部屋の明かりが違うので、天井が張ってあるということだいたい全体が部屋自体が反射して明るくなるようなことがあります。光ダクト自体のコンセプトへの影響はどうですか。</p>
日建設計（小谷）	<p>それはないと考えております。おっしゃったように天井が張ってあって且つ白い天井だと、やっぱり天井にある照明が床に反射してさらに天井に反射して明るくなるということがあるんですけども、今回天井をやめましても、もともと真っ白な天井では考えてなかったものですから、そのぶん光による影響はない、むしろ真っ白だと返って逆に見にくいという話もございましたので、そういう意味ではコンセプトとしての影響はないと思っております。</p>
青木委員	<p>吊り天井はもともとそういうふうな地震の影響は大きいというのは前々からわかっていましたよね。なぜ急に。</p>
日建設計（小谷）	<p>もともとその吊り天井が地震で揺れて落ちるとかってことは我々は考えておりましたので、それぞれ光ダクトを通したってということもあるんですが、全体に大きな一枚天井じゃなくて、こう分割、個分割した天井で少しその影響を軽減できるというふうに考えていたんです。ところが、ついこの前国土交通省が地震の耐震強度の</p>

	<p>基準を見直す政令を公布しまして、来年の4月から施行されるんですけども、それは設計完了する時点で具体的にどういふかたちになるかというのが全然わからなかったんですね。それが出たあとの建物ができるかたちになるんで、設計では反映されていないけど、現場で反映しないとイケないことになる、ちょっと大変だなどということもあって、いっそのことその影響を受けないかたちのものがないのではないかとということで見直しをさせていただいた、それがなければもともとはそれなりに強度をちゃんと持たせてというつもりではいたんですけども。</p>
青木委員	<p>普通、政令の場合は暫定期間とかありますし、技術的な指針もあらかじめ公表されるはずですが、その辺は。</p>
日建設計（小谷）	<p>今回は技術的な指針が、パブコメとかもいろいろあったんですけども、最後までなかなか出てこなかったんですね、一応この前の7月中旬に出されて来年4月から施行になるので、その間がその期間になるので実際には確認申請はその前に通りますので、適応は直接的には影響されないといへばそういうことになるんですけど、やはりこれだけの国体で使われるような注目されるような建物ですので、それらの対応をしてなくていいかとなると、そういうわけにもいかないかなというところもあります。</p>
青木委員	<p>逆に言いますと、4月以降ということになると、その時点でまだ着手してない状況ですので対応可能かなという気がするんですけど。</p>
日建設計（小谷）	<p>あとはコスト的なところのやりくりをどうするかということとと思います。</p>
青木委員	<p>対策となると、そんなにコストは上がりますか。</p>
日建設計（小谷）	<p>そうですね。かなり相当厳しい基準に変わりますので。</p>
青木委員	<p>どういった構造になるかお分かりですか。</p>
日建設計（小谷）	<p>天井の中にしっかりと、天井吊り材もブレスも組んで天井板自体をがちっと固める。それと地震の揺れに対して落下しないということがありますんで、周辺にクリアを付けるとか、あと天井を吊る天</p>

青木委員	<p>井材というのはこのクリップで掴んで留めるようになっているんですが、そのへんのクリップの形状の変更とか、そういうものが従来使っているものが使えなくなってくるかたちになるかと思いません。</p> <p>光ダクトのコンセプトに影響がないことであればよいかと思えます。</p>
木下委員長	<p>天井の関連で、天井を露出させるということは梁が露出しているということで、H型の梁だとするとホコリの問題だとか、あるいはなんかボールの競技のボールがひっかかるとか、バトミントンの羽がひっかかるとかの可能性があるとかそういう心配はしなくていいですか。</p>
日建設計（小谷）	<p>ホコリはありますね。ただかなり天井が高いのでボールがそこまでひっかかるところまではいかないと思います。</p>
木下委員長	<p>そういうふうに考えていいと。</p>
日建設計（小谷）	<p>はい。</p>
木下委員長	<p>梁はH鋼ですよ？</p>
日建設計（小谷）	<p>そうですね。下フランジは出てきますね。</p>
木下委員長	<p>出てくるんですよ。なんか溜まるなりひっかかるなりという恐れはあると。</p>
日建設計（小谷）	<p>はい。</p>
木下委員長	<p>その度にネットなんかをはられてしまっちは台無しになっちゃいますよね。</p>
日建設計（小谷）	<p>学校の体育館だともう少し天井が低いですけど、これは公式競技で使える天井の高さにしていますので、相当の意識してやらないとそこまでボールは届かないと思います。</p>
木下委員長	<p>サブアリーナについても同様ですか？</p>

日建設計（小谷）	サブアリーナについてもそうですね。
木下委員長	ありがとうございました。以上です。
木下委員長	<p>トイレを今回出していただきましたけども、中はすごく清潔綺麗なんですが、例えば、視覚障がいの方とかですね、便器がどこにあるのかとか、扉がどこにあるのかとかですね、ユニバーサルデザイン的な考え方をするとちょっとわかりにくくなる恐れがあるんじゃないかなと思うのですが、その辺はどういうふう考えてますか。</p>
日建設計（小谷）	<p>一応、入り口のところに視覚障がい者の方用の点字案内板をつけて、それで誘導するかたちにはしております。</p>
木下委員長	<p>それはブラインドの方だと思うんですが、弱視の方々もいらっしゃいますから、その場合は視覚をかなり頼りにしていますから、色の濃淡というもので判別したり、真っ白で綺麗なかたちですけども、そういう観点からするとどうかなというふうなのがありますから、どのように考えられているのかなと思ひまして。</p>
日建設計（小谷）	<p>基本的にはブラインドの方向けにそういうふうにするということ考えておまして、あんまり壁と便器の色に濃淡をつけてっていうことはちょっと考えてなかったですね。</p>
木下委員長	<p>扉の色を変えるだけでも大分かわるかと思ひます。</p>
日建設計（小谷）	<p>そうですね。扉に関しては少しわかりにくいですけども、使っていない扉については常時扉が開いているようにします。ですので、小口がここに見えるんですけど、その小口のところに色をつけようかと思ひます。それは色というか少し木目調の肌が出てくるようなものにして、真っ白でちょっと冷たい感じになり過ぎないように、そういう工夫はしようかと思ひます。</p>
木下委員長	<p>この委員会ですと色々な委員の皆さんに発言いただいて、例えば色の問題ですとかアリーナのところでバドミントンを認知するとか、そういうのは現場段階で対応されるということなんですけども、その意図というのは現場段階に反映されてくものなんですか。例えば、設計者さんが継続して何か関わられるのか、あるいは申送りと</p>

山川理事	<p>いかたちで文書としてまとめられていくのか、そういうのはどう いうふうに考えられているのでしょうか。</p> <p>設計監理については意図伝達ということで、引き続き設計者のと ころで面倒を見ていただくよう、意図伝達業務をお願いしていくと 考えております。</p>
木下委員長	<p>わかりました。</p>
日建設計（小谷）	<p>そのあたりはまだ決まってないんですけども、もしそうならなか ったとしても何らかのかたちで申し送りができるようにさせてい ただきたいと思います。</p>
木下委員長	<p>是非それでお願いしたいなと思います。</p> <p>ほか、特に意見があがりませんでしたら、次に移らせていただき ます。では議事の2番、その他について事務局さんからご説明をお 願いします。</p>
事務局（若林）	<p>その他の議事につきましてですけども、以前から申し上げており ました施設ですね、管理・運営面での検討についてでございます けども、管理運営手法の検討から、どのように管理していくか運営 手法に基づく必要な書類作成等につきまして、現在、津市内の専門 のコンサルタントのほうに、業務を委託して進めていくというところ でございます。施設の機能を十分に発揮できるよう適切な施設の 管理と運営を最優先に検討を進めてまいります。その他につきまして は以上でございます。</p>
木下委員長	<p>はい、ありがとうございました。先ほどの説明についてご意見・ ご質問はございますでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは他に何か事務局さんのほうからございますか？</p>
事務局（若林）	<p>はい、失礼いたします。本日ですね、委員会の議事録についま しては委員の皆様にご確認いただいたうえで公表のほうを させていただきますので、ご了承ください。</p> <p>最後にスポーツ文化振興部新産業スポーツ施設推進担当理事の 山川よりご挨拶を申し上げます。</p>

<p>山川理事</p>	<p>閉会にあたりまして、ご挨拶させていただきます。昨年の2月から7回にわたりましてお忙しいところご出席を賜りまして、貴重なご意見をいただきまして本当にありがとうございます。それぞれの分野でご活躍をされている皆様方からいただいたお話を設計者の方にご勘案いただくことによりまして、市民利用や、国際大会等が可能な施設としてより質の高い施設運営へと反映していただけたものと思っております。おかげさまで施設整備にかかるハード面での検討につきましては実施設計の完成をいたしましたことで、おおむね完了したものと思っております。冒頭で青木副市長からスケジュールの話がありましたように、すでに一部の駐車場工事が着手しておりますが、来年1月からは本工事に移行する予定であります。皆さんの任期といたしましては、本年9月末迄でございますが、今後の工事施工段階をはじめ、施設整備を進めて参りますなかで、個人的にアドバイスをいただけましたらと考えておりますので、その節はよろしくご指導のほどお願いいたします。</p> <p>また、先ほど担当のほうから申しましたように、今後は施設の管理運営の検討を進めてまいりたいと考えておりまして、市のほうで施設を造り、管理運営につきましては民間企業等で行う公設民営方式を予定しておりまして、指定管理者制度によりサオリーナとメッセウイング・みえと合わせて（仮称）津市産業・スポーツセンターとして施設運営していくという意図でございます。その中で、多くの方に使っていただいておりますね、活きるような施設でございますので、スポーツイベントの始めといたしまして、産業振興としての見本市の開催など、誘致活動にも力を入れていかなければならないと考えておりますので、この誘致活動におきましてでもですね、皆様方のお力をお借りできればなと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。</p> <p>最後になりましたが皆様本当に1年半の長きにわたりご指導いただきまして、誠にありがとうございました。</p>
<p>木下委員長</p>	<p>どうもありがとうございました。それでは、以上でこの設計検討委員会も終了ということになりますけれども、委員の皆様のご審議どうもありがとうございました。</p> <p>以上で終了したいと思います。ありがとうございました。</p>